

PowerGres[®] on Linux マニュアル



- Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他、マニュアル中で記載している会社名、商品名は一般に各社の商標または登録商標です。なお、マニュアル中では、TM マークおよび ® マークは明記していません。

目次

1	はじめに	2
2	PowerGres on Linux の概要	2
2.1	PowerGres on Linux とは	2
2.2	製品構成	2
2.3	動作環境	3
2.4	制限事項・仕様	3
3	ユーザ登録のお願い	4
4	インストール	4
4.1	インストールの手順	4
4.2	インストール後の構成	7
5	サポートについて	7
5.1	インストールサポート	8
5.2	年間サポート	8
5.3	PostgreSQL/PowerGres サポート&保守サービス	8
6	お問い合わせ	8

1 はじめに

このたびは PowerGres on Linux をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。PowerGres on Linux は、オープンソースデータベースとして実績のある PostgreSQL をベースに、使い易く高機能の PowerGres Administrator Tool という Web ベースの管理ツールを同梱した商品です。

本マニュアルでは PowerGres on Linux のインストールと共にサポートのご紹介をいたします。PowerGres Administrator Tool については別冊の「PowerGres Administrator Tool 操作マニュアル」をご覧ください。

2 PowerGres on Linux の概要

2.1 PowerGres on Linux とは

PowerGres on Linux はオープンソースデータベース PostgreSQL をベースとしています。機能も PostgreSQL と同等です。

- 弊社による安心、長期間のサポート

PostgreSQL はオープンソースデータベースですから利用は自己負担が原則です。利用する人が利用形態に合った保守体制・情報収集体制を確保する必要があります。PowerGres on Linux ならば PostgreSQL で実績のある弊社から万全のサポートが得られます。なお、サポートは第 5 章 (7 ページ) 記述の「年間サポート」をご購入いただいた場合に限りです。また、製品終了から 3 年間のサポート保証をしておりますので、長期間に渡って使用されるミッションクリティカルなシステムにも安心してご利用いただけます。

- PostgreSQL と完全互換

PowerGres on Linux は PostgreSQL はもちろんすべての PowerGres ファミリー (PowerGres on Windows を含む) と相互に接続可能です。

- 簡単なウィンドウ操作で容易に管理

PowerGres on Linux 専用の管理ツールを同梱しており、データベース・ユーザの作成やデータベースの基本構成の設定、ネットワーク接続構成の設定、データベースの起動・停止、データベースのバックアップ、リストアなどが簡単な GUI 操作で実行可能です。また、各種監視情報閲覧ツールも付属しています。初心者の方にも容易にデータベースの管理が可能です。

- インストールも容易に

コマンドひとつで簡単にインストールできます。また、インタフェースには、C、JDBC が含まれており、すぐにアプリケーション開発にとりかかることができます。

2.2 製品構成

PowerGres on Linux の製品構成は以下のとおりです。

- CD-ROM

- PowerGres on Linux インストーラ

- PowerGres on Linux 本体
- PowerGres Administrator Tool (管理ツール)
- 使用許諾書

2.3 動作環境

PowerGres on Linux 本体の動作環境は以下のとおりです。

OS	Red Hat Linux 7.3、8.0、9 Turbolinux 8 Server、Enterprise Server 8
CPU	Intel 32-bit x86 CPU (300MHz 以上推奨)
メモリ	128MB 以上 (256MB 以上推奨)
ハードディスク	100MB 以上の空き領域

PowerGres Administrator Tool の動作環境については「PowerGres Administrator Tool 操作マニュアル」を参照してください。

2.4 制限事項・仕様

PowerGres on Linux については固有の制限事項はとくにありません。なお、PowerGres Administrator Tool の制限事項・仕様については別冊の「PowerGres Administrator Tool」操作マニュアルをご覧ください。Turbolinux Enterprise Server 8 powered by UnitedLinux においては次の仕様になっています。

1. 共有メモリ設定が反映されない場合があります。

インストーラで自動的に共有メモリの値の設定を/etc/sysctl.conf に書き込みますが、標準設定では起動時にこの設定が読み込まれないため、OS の再起動などを行うと元の値に戻ってしまいます。/etc/sysctl.conf の値を OS の起動時に読み込むようにするには以下のコマンドを実行します。

```
# chkconfig -s boot.sysctl <runlevel>
```

<runlevel> には起動するランレベルを列挙します。

2. OS 起動時に PowerGres on Linux が自動起動しません。

PowerGres on Linux が OS 起動時に自動起動しません。自動起動するようにするには以下のコマンドを実行します。

```
# chkconfig --level <runlevel> powergres on
```

<runlevel> には起動するランレベルを記述します。

PowerGres Administrator Tool の制限事項・仕様については別冊の「PowerGres Administrator Tool」操作マニュアルをご覧ください。

3 ユーザ登録のお願い

PowerGres on Linux をご購入されたお客様は、ユーザ登録をしていただくことをお勧めいたします。ユーザ登録をすることによって次のサービスを受けることが可能です。

- 1ヶ月間の無償インストールサポート
- E-mail によるバージョンアップのご案内

ユーザ登録は下記の URL の「ユーザ登録」ページから行ってください。なお、ユーザ登録にはライセンスキーが必要ですので、製品パッケージ内に含まれる使用許諾書をお手元にご用意ください。

<http://powergres.sraoss.co.jp/>

4 インストール

4.1 インストールの手順

インストールはスクリプトを実行し、必要な設定を入力することで行います。インストールが終了すると、PowerGres on Linux 本体、PowerGres Administrator Tool がインストールされ、直ちに利用できるよう設定されるようになっています。

インストールを行うには、製品に同梱している CD-ROM をインストールするマシンにセットしてください。ここでは CD-ROM を `/mnt/cdrom` にマウントしているという前提で解説します。マウントしたディレクトリが異なる場合は適宜読みかえてください。なお、インストールは `root` で行う必要があります。

1. インストールスクリプトを実行します。

```
# sh /mnt/cdrom/install.sh
```

インストールスクリプトが起動されると、次のような画面が表示されます。

```
Welcome to PowerGres on Linux
```

2. ライセンスキーを入力します。

製品に付属しているライセンスキーを入力してください。

```
Please input the license key (ex: ABCD-EFGH-IJKL-MNOP):
```

ライセンスキーの入力に失敗すると次のようなメッセージが表示され、インストールが中止されます。

```
The license key cannot be authenticated.
```

ライセンスキーが正しいものと認識されると次のように表示されます。

```
The license key is authenticated.
```

3. PowerGres on Linux のスーパーユーザ名を入力します。

```
Please input the superuser name [postgres]:
```

何も入力しなければ postgres をスーパーユーザとして利用します。スーパーユーザは OS のユーザとして存在する必要がありますが、存在しないユーザを指定した場合には、自動的に OS 上にユーザが作成されます。また、root をスーパーユーザとすることはできません。

何も入力せず、かつそのユーザがすでに存在する場合は次のように表示されます。

```
"postgres" already exists.  
The superuser is "postgres".
```

指定されたユーザが存在しない場合は次のように表示され、OS のユーザが作成されます。以下は test ユーザが作成される場合の例です。

```
"test" still does not exist.  
Creating "test"... Succeeded.  
The superuser is "test".
```

4. スーパーユーザのパスワードを入力します。

ここでは PowerGres on Linux のスーパーユーザのユーザ名として postgres が設定されていることを仮定します。

```
Please input the password:  
Please input the password once more:
```

正しいパスワードを 2 回入力することで設定できます。このパスワードは、OS のパスワードではなく、PowerGres Administrator Tool 専用で利用されるパスワードです。

5. PowerGres Administrator Tool が使用するポートを指定します。

```
Please input the port for PowerGres Administrator Tool [8080]:
```

入力しない場合には 8080、入力すれば指定されたポートを利用します。すでに利用されているポートは入力しないようにしてください。また、1023 以下のポートを利用することはできません。

ポート番号が認識されると、次のように表示されます。

```
The port for PowerGres Administrator Tool is 8080.
```

6. インストールが行われます (自動)。

```
Preparing installation... Succeeded.  
Installing powergres-libs... Succeeded.  
Installing powergres... Succeeded.  
Installing powergres-devel... Succeeded.  
Installing powergres-contrib... Succeeded.  
Installing powergres-server... Succeeded.  
Installing powergres-test... Succeeded.  
Installing powergres-docs... Succeeded.  
Installing powergres-jdbc... Succeeded.  
Installing powergresadmin... Succeeded.  
Installing powergresadmin-apache... Succeeded.  
Installing powergresadmin-php... Succeeded.
```

7. OS の共有メモリが確認されます (自動)。

PowerGres on Linux を最適な環境で運用できるように、OS の共有メモリを確認します。場合によっては共有メモリの値を変更することがあります。共有メモリの設定が変更された場合は、次のように表示されます。

```
Configuring shared memory... Succeeded.
```

8. インストール後の設定が行われます (自動)。

```
Setting after installation... Succeeded.
```

9. インストーラから PowerGres Administrator Tool が起動されます (自動)。

正しく処理が終了すると次のように表示されます。最後に表示された URL が管理ツールの URL となります。インストール終了時点では、データベースを格納する領域 (データベースクラスタ) が存在しないためデータベースにアクセスできません。まず、PowerGres Administrator Tool にログインし、SETTING の initdb メニューからデータベースクラスタの作成を行ってください。PowerGres Administrator Tool については別冊の「PowerGres Administrator Tool 操作マニュアル」を参照してください。

```
Starting PowerGres Administrator Tool... Succeeded.  
You can access PowerGres Administrator Tool with the following URL:
```

```
http://hostname:8080/
```


インストーラでは OS の起動サービスに PowerGres on Linux 本体と、PowerGres Administrator Tool を追加しています。従って、OS の起動・再起動時に手でサービスの開始や停止を行う必要はありません。

4.2 インストール後の構成

PowerGres on Linux のインストールが終了すると、次の RPM パッケージがインストールされています。

- **powergres**
クライアントプログラムと関連するマニュアル、PostgreSQL の HTML マニュアル (英語版)
- **powergres-server**
サーバプログラムとライブラリ、関連するマニュアル
- **powergres-devel**
ヘッダファイルと libpq、ecpg ライブラリ
- **powergres-libs**
libpq、ecpg ライブラリ
- **powergres-jdbc**
JDBC ドライバ
 - /opt/powergres/share/pg73jdbc1.jar JDK 1.1
 - /opt/powergres/share/pg73jdbc2.jar JDK 1.2、JDK1.3
 - /opt/powergres/share/pg73jdbc2ee.jar JDK 1.3 (javax.sql.*を含む)
 - /opt/powergres/share/pg73jdbc3.jar JDK 1.4
- **powergres-test**
regression test 実行ツール (テストスイート)、ライブラリ
- **powergres-docs**
ドキュメント (SGML ソースを含む)
- **powergres-contrib**
PostgreSQL に付属する contrib ツール
- **powergresadmin**
PowerGres Administrator Tool プログラム本体、PostgreSQL 日本語マニュアル
- **powergresadmin-apache**
PowerGres Administrator Tool 専用 Apache Web サーバ
- **powergresadmin-php**
PowerGres Administrator Tool 専用 PHP

5 サポートについて

PowerGres on Linux を安心してお使いいただくためのサポートを多数取り揃えております。サポートの詳細は PowerGres Web ページをご覧ください。またお申し込みも、Web ページから行っていただくのが簡単です。

5.1 インストールサポート

ユーザ登録者に対しユーザ登録後 30 日間無償でインストール終了までのご質問を E-mail で承ります。ユーザ登録の方法は、第 3 章 (4 ページ) を参照してください。

5.2 年間サポート

PowerGres on Linux をご利用になる方、すべてにお勧めするサポートです。

- バージョンアップサービス
無償でバージョンアップソフトウェアを提供します。
- 修正パッチの提供
長期間に渡って安心してお使いいただけるように、生産終了から 3 年間以内の製品に対して無償でパッチをご提供いたします。
- 障害対応
PowerGres の障害原因を調査し、パッチ提供、回避策の提示をいたします。
- サポートデスクサービス
サポートデスクサービスには、回答サービス (下記表参照)、障害対応や情報配信サービスが含まれます。

質問内容範囲	インストール、管理ツール、サーバ本体、API (C、PHP、JDBC)
質問受付回数	無制限
質問受付方法	E-mail、電話
対応時間	弊社営業日の 9 時～12 時、13 時～19 時

5.3 PostgreSQL/PowerGres サポート&保守サービス

年間サポートに加えてデータベースのチューニングやテーブル設計などの高度な質問に対してもお答えするサービスです。

6 お問い合わせ

SRA OSS, Inc. 日本支社
〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-46-3 大塚セントコアビル 5F
powergres-sales@sraoss.co.jp